

第 27 回 通 常 総 会 記 録

日時 平成 8 年 6 月 8 日 午後 1 時 30 分～
場所 富 山 県 民 会 館 401 号 室

I. 総会議事の概要

会 員 総 数 265 名 うち出席者62名 委任状147名
会 長 挨拶 越山健二
議 長 選 出 厚生連本所 佐伯秀信
議事録署名人 富山市 柳井道之
滑川市 石倉俊宜
書 記 宮崎 徹, 井村 守
議 事
第 1 号議案 平成 7 年度事業報告書, 財産目録, 収支決算報告承認について
第 2 号議案 平成 8 年度事業計画及び収支予算承認について
第 3 号議案 役員の一部改選について
第 4 号議案 顧問の一部変更承認について
特 別 講 演 元富山医科薬科大学学長 佐々 学
演 題 「環境と健康」

II. 平成 7 年度事業報告書

(平成 7 年 4 月 1 日～平成 8 年 3 月 31 日)

I. 事業の概況

平成 7 年度の事業の終了に当たり、事業の概況について報告致します。

昨年は、一昨年のウルグアイラウンドの決着に基づき、日本史上初めて制度として米の輸入が始まり、また米の自由販売を基本とする新食糧法の制定など、農業農村をめぐる大きな変動がありました。

富山県は全国的にも耕地に占める水田比率は高く、かつ農業の兼業化も最も進んでいます。これらの大きな変化は農業生産に対する意欲の減退を招き耕地の荒廃をも危惧されます。

本会ではますます厳しくなる農業、農村に生活する人々のより豊かで健康な生活を築くため、会員の皆さまと共に調査研究を続けてまいりました。

昭和 45 年より続けております農業機械災害事故調査、また、昭和 55 年より続けております農業機械以外による農業災害事故調査について、今年度も実施してきました。また、農薬中毒の臨床例調査も昭和 55 年より続けております。このような全県一円の医療機関を対象とした調査は全国でも例が無く、我々の調査が各方面で注目されています。

農薬による生体影響調査，農作業紛塵による健康影響調査，また，富山県内の空中花粉調査，アレルギーに関する調査など農業医学的なテーマについても農協組織や関係機関と協力して実施してきました。

農村における健康状態の把握についても高岡，滑川の農村検診センターを始め各関連機関で取り組まれています。特に，これからの高齢化社会にとって大きな課題である骨粗鬆症に関する検診についても取り組まれ，様々な知見が明らかになっています。

また，農村環境調査も引き続き実施し，環境と健康問題にも取り組んできました。

さらに，高齢者問題では，農協共済総合研究所より委託を受け「農村における老化とその対応」の2年目の調査研究を実施してきました。

これらの研究成果は長岡市で開催された第44回日本農村医学会や第13回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会など，各種学会や本会会誌で発表しています。

以上，本会の活動は医療関係者をはじめ行政，農協および農村の保健と医療や健康問題に関心のあるあらゆる方々の協力により実施されてまいりました。次年度も引き続き事業計画に基づき，さらに研究調査に鋭意取り組んでまいりたいと思いますので，会員各位の絶大なるご協力をお願い致します。

最後に県当局，農協各連より絶大なるご援助をいただいておりますことに対して，厚くお礼申し上げます。

II. 主な事業項目の概要

I. 第26回総会（平成7年6月3日，富山県民会館）

- ① 議 事
 - ・平成6年度事業報告，収支決算書承認
 - ・平成7年度事業計画，収支予算書案承認
 - ・役員の変更，顧問の承認

② 特別講演

講師 富山医科薬科大学教授 鏡 森 定 信 氏

演題 「どうなる，どうする21世紀の保健・医療」

II. 研究調査活動

(1) 農業災害に関する調査研究

①富山県における農業機械災害事故調査

昭和45年より実施している農業機械災害事故調査を全県の整形外科，外科，眼科，接骨院約800カ所あまりを対象に臨床例の収集に努めた。本年度も一次調査，二次調査（詳細調査）を実施した。

今年度は，例年より事例数が増加し，これまでの70例台から100例近くとなり，特に草刈機による事故が増え，今後の予防対策の強化が望まれた。

②富山県における農業機械以外の農業災害事故調査

昭和55年より実施している標記調査について，前項と同様一次調査，二次調査を実施した。事故は高齢者に集中し，転落などの重大事故も発生しており，十分な安全対策が望まれた。

(2) 農薬中毒に関する調査研究

①富山県における農薬中毒の臨床例の収集とその問題点の解明

昭和55年より県内の内科，外科，小児科，眼科，皮膚科を標榜する約650カ所の医療機関全てを対象に農薬中毒の臨床例の有無を調査し，次いで症例の有った医療機関に詳細報告を求めた。症例数は例年と同程度あり，相変わらずパラコートによる症例が目立つ。

②生体における農薬残留に関する調査研究

有機リン剤の生体内残留について農薬散布期間および非散布期間において農薬の尿中代謝物を継続的に測定してきた。その結果非散布期間においても代謝物が検出され，農薬暴露によるものか，または食物由来のものであるか今後の検討が必要と考えられた。

(3) 農村におけるアレルギーに関する調査研究

①富山県における空中花粉調査

県内の農協等の協力により，継続調査として春先の空中花粉の飛散状況について，県内5カ所について調査してきた。

②農村住民のスギRastに関する調査研究

昨年に引き続き，利賀村住民および滑川農村検診センターの受診者500名のスギRastについて測定し，各種の生活因子との関連について検討した。

(4) 農作業粉塵による健康影響に関する調査研究

滑川農村検診センター受診者約6,300名について，農作業粉塵暴露による影響について粉塵暴露者と非暴露者について比較した。その結果，暴露者は非暴露者に比べ呼吸器系の有訴率が高く，特に喫煙によりその影響が増悪しており，短時間の粉塵暴露といえども防護が必要と考えられた。

(5) 農村環境の変化と健康影響に関する調査研究

高岡市農協管内において，1990年に台帳登録をした地域内すべての神社の杉の木約650本について梢，葉，樹形の活力度調査を継続して実施した。また，高岡市内約250カ所で二酸化窒素を夏と冬に測定した。

(6) 農村における各種健康調査

①骨粗鬆症検診結果について

滑川農村検診センターにおいて実施した骨粗鬆症検診の成績について各種生活因子との関連性について検討した。

②血中カロチン濃度と生活因子との関連について

滑川農村検診センターを受診した500名について血中カロチン濃度を測定した。その結果，緑黄色野菜や淡色野菜などの摂取の多い者に明らかにカロチン濃度は高く，今後癌予防や各種成人病予防の指標として検診においてカロチンの測定の意義について検討することが必要と考

えられた。

③山村住民の耳鼻科疾患に関する調査研究

継続調査をしている利賀村住民の聴力調査、並びに耳鼻科検診を実施した。

(7) 「農村における老化とその対応」に関する調査研究

農協共済総合研究所より2年間の委託研究として受託している「農村における老化とその対応」について第2年度目の調査を実施した。前年度は健康な高齢者について調査したが、今年度は健康障害者、並びに非農村住民についての共通のアンケート用紙(168項目)により特に、高齢者の心情や思い、生き甲斐などに焦点をあて調査を実施した。調査は全国7地域(北海道、秋田、茨城、神奈川、愛知、富山、広島)で実施し、第1年度の健康者は、約800人、第2年度の健康障害者は約400人、また、非農家約160人の調査の総括をした。

Ⅲ. 各種研究会参加・交流並びに開催

(1) 第44回日本農村医学会

- ・開催日時 平成7年10月5～6日
- ・開催場所 長岡市
- ・会員発表 富山県より8題発表

①臭化メチルによる土壌燻蒸作業者の健康調査	大浦 栄次 他
②ハチ刺傷によるアレルギーの基礎的研究(第1報)	寺西 秀豊 他
③食生活スタイルと健康影響	渡辺 正男
④当院の糖尿病患者教育の実際 -患者の立場に立った食事指導をめざして-	正岡 昌美 他
⑤ライフスタイルの変化が検診データに及ぼす影響について	岸 宏栄 他
⑥二次検診の受診率の向上の一考察 -受診状況の実態調査より-	坂次 順子 他
⑦医療材料のスリム化へ向けての試み -看護婦の立場から-	中村 春枝 他
⑧視覚障害と血液透析のダブルハンディをもつ患者との関わり	河崎 孝夫 他

(2) 第13回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会

- ・開催日時 平成8年2月3日(土)
- ・開催場所 厚生連高岡病院 地域医療研修室(1)
- ・会員発表 13題

①滑川総合検診センターにおける骨密度検診の検討	大原千津子 他
②富山県内における骨粗鬆症予防検診とその関連要因の検討	黒牧 祐子 他
③腹部超音波検診の成績と問題点	小川 忠邦 他
④二次検診未受診者の実行要因	作道 康子 他
⑤ゆたかな水・緑を次代へ	吉野 公
⑥くれはの森から	中川 秀幸
⑦アイガモ農法の現況	荒田 清耕

- | | |
|---------------------------|---------|
| ⑧ハチ毒抗原に対する IgE 抗原価の測定 | 新村 律子 他 |
| ⑨空中花粉の新しい観察法：核を観察する | 寺西 秀豊 他 |
| ⑩農協におけるホームヘルパー養成の現状と課題 | 寺崎 直樹 他 |
| ⑪当院の高齢化社会に対する活動 | |
| －訪問看護・ホームヘルパー実習・病院ボランティア－ | 平野 春美 他 |
| ⑫死にゆく患者の心理段階と看護婦の態度との関連 | |
| －事例によるアンケート調査をもとに－ | 山岸 由美 他 |
| ⑬看護職員の「病・老・死」に対する真情 | 大浦 栄次 他 |
| ・特別発言 | |
| ・「生存秩序を大地に学ぶ」 | 越山 健二 |

IV. 印刷物の刊行

会誌第27巻の発刊

Ⅲ. 主な行事（平成7年4月1日～平成8年3月31日）

年月日	主 な 行 事	
	事 項	場 所
7. 4. 1	空中花粉定点観測	黒部農協, 厚生連滑川病院 厚生連高岡病院, 利賀村
4. 21	平成6年度第2回理事会	厚生連会議室(9名)
5. 11	編集委員会	厚生連会議室(6名)
5. 19	平成6年度第3回理事会	厚生連会議室(9名)
6. 3	第26回総会	富山県民会館
6. 6	「農村における老化とその対応」研究会議	全国厚生連
6. 8	山村住民の耳鼻咽喉科検診, 難聴調査 (6/22, 7/6)	利賀村
7. 1	中国学術交流団, 中国河南省医師団を訪問・ 交流(～7/9)	中国河南省
7.	緑の調査・大気汚染調査	高岡市
8. 23	平成7年度第1回理事会	厚生連会議室(10名)
9.	前期農薬中毒, 農業災害実態調査	
10. 5～6	第44回日本農村医学会	長岡市(発表8題)
11. 8	高齢者問題専門委員会	厚生連会議室(8名)
8. 1. 26	第91回日本農村医学会理事会	東京(越山出席)
1.	後期農薬中毒, 農業災害実態調査	
2. 3	第13回富山県農村医学研究及び 健康管理活動発表集会	厚生連高岡病院(約70名)
3. 11	幹事会	厚生連会議室(8名)
3. 18	農作業粉塵調査研究会議	全国厚生連
3.	「農村における老化とその対応」報告	

IV. 総 会

第26回通常総会

平成7年6月3日

総会日現在会員数		306名
出席会員数	実際に出席した会員	74名
	代理議決	0名
	書面議決	121名
	計	195名
<p>重要なる議事及び議決事項</p> <p>第1号議案 平成6年度事業報告書, 財産目録, 収支決算書承認について 原案承認</p> <p>第2号議案 平成7年度事業計画案及び収支予算案承認について 原案承認</p> <p>第3号議案 役員改選について 原案承認</p> <p>第4号議案 顧問の承認について 原案承認</p> <p>※議事終了後, 講演会を開催 特別講演 富山医科薬科大学教授 鏡森定信氏 「どうなる, どうする21世紀の保健・医療」</p>		

財 産 目 録

(平成8年3月31日現在)

(単位: 円)

内 訳	金 額	備 考
貯 金	58,700	
計	58,700	

平成7年度収支決算書

収入の部

(単位：円)

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
会費収入	306,000	265,000	-41,000	
会 費	306,000	265,000	-41,000	265人×1,000円
助成金	1,800,000	1,800,000	0	
助 成 金	1,800,000	1,800,000	0	富山県より
特別負担金	4,680,000	4,680,000	0	
特別負担金	3,480,000	3,480,000	0	4連×870,000円
調査研究協力費	1,200,000	1,200,000	0	厚生連より繰入
雑収入	3,505	2,672	-833	
雑 収 入	3,505	2,672	-833	利息など
前期繰越金	60,320	60,320	0	
収 入 計	6,849,825	6,807,992	-41,833	

支出の部

項 目	予算額	決算額	差引額	備 考
会議費	750,000	394,190	-355,810	
総 会 費	300,000	127,720	-172,280	
役員会費	450,000	266,470	-183,530	
事業費	5,600,000	6,004,629	404,629	
研究調査費	3,400,000	3,733,297	333,297	各種調査研究費
専門委員会費	80,000	48,244	-31,756	〃 打ち合わせなど
研究集会費	350,000	394,089	44,089	日本農村医学会参加費など
会誌発行費	1,300,000	1,486,599	186,599	第27巻発行費
編集委員会費	20,000	30,000	10,000	
通信費	200,000	192,400	-7,600	
消耗品費	150,000	120,000	-30,000	
備品・什器	100,000	0	-100,000	
旅費交通費	200,000	9,050	-190,950	
旅 費 交 通 費	200,000	9,050	-190,950	
事務費	240,000	240,000	0	
事 務 費	240,000	240,000	0	20,000円×12ヶ月
雑 費	20,000	101,423	81,423	
雑 費	20,000	101,423	81,423	
予備費	39,825	0	-39,825	
予 備 費	39,825	0	-39,825	
支 出 計	6,849,825	6,749,292	-100,533	
次期繰越金	0	58,700	58,700	

平成8年度事業計画

I. 事業方針

富山県内の農山漁村におけるすべての健康問題を調査研究し、明るく健康な村づくりに寄与する。
特に、農薬中毒や農業災害、職業性疾患等農業医学的分野及び、農村環境や農村生活に起因する農村医学的分野について調査研究を行う。さらに、命を育む農業を営む事の精神的、社会的、文化的意義を明らかにし、心豊かな農村づくりに寄与する。

II. 事業計画概要

1. 農村の職業性疾患の調査研究
 - ・農村の地域環境並びに農作業の特殊性に起因する健康障害の調査研究
2. 農業災害の調査研究
 - ・農業機械の健康に及ぼす影響についての調査研究、特に騒音及び振動の影響に関する調査研究
 - ・農業機械及び農業機械以外による農業災害事故調査研究
3. 農薬の生体に及ぼす影響に関する調査研究
 - ・農薬中毒の実態調査
 - ・農薬の生体に対する急性及び慢性的影響に関する調査研究
 - ・農薬の生体残留に関する調査研究
4. 健康管理に関する調査研究
 - ・農業従事者の健康状態の把握と保健指導
 - ・農業従事者の健康管理に関する調査研究
 - ・農業従事者の成人病の実態調査とその対策に関する調査研究
5. 農村における社会医学的研究
 - ・農村における高齢者に関する調査研究
 - ・社会変動による農業従事者の生活・健康に及ぼす影響についての調査研究
 - ・都市近郊農村における社会医学的研究
 - ・農村における食生活の変化と健康影響に関する調査研究
6. 農村における特殊疾患の調査研究
 - ・伝染病、風土病等の地域多発疾患の疫学的調査研究
7. 農村における環境汚染と健康影響に関する調査研究
8. 乳幼児並びに学童の健康調査研究
9. 農村の健康会議、健康教室等の実施
10. 研究会誌並びに必要な印刷物の発行
11. 研究集会の参加及び開催
12. その他目的達成に必要な事項

III. 主な事業計画

I. 主な調査研究

- (1) 農業災害に関する調査研究

- ①富山県における農業機械災害事故調査
 - ②富山県における農業機械以外の農業災害事故調査
- (2) 農薬中毒に関する調査研究
- ①富山県における農薬中毒の臨床例の収集とその問題点の解析
 - ②農薬散布者の健康調査
 - ③有機リン剤の体内残留に関する調査研究
- (3) 農村におけるアレルギー疾患に関する調査研究
- ①農村地区における花粉症に関する調査研究
 - ②農村住民のアレルギー疾患に関する調査研究
- (4) 農作業及び農作業環境と健康障害に関する調査研究
- ①農作業粉塵による健康障害に関する調査研究
 - ②各種農作業における作業環境及び労働負荷に関する調査研究
- (5) 農山村における騒音による聴力障害等に関する調査研究
- ①農業機械の騒音分析及び作業中騒音暴露量の測定
 - ②農作業騒音防止に関する調査研究
- (6) 農村環境の変化と健康影響に関する調査研究
- ①農村における緑の調査
 - ②農村における大気汚染に関する調査研究
 - ③農薬による環境汚染に関する調査研究
- (7) 農村における生活習慣と健康に関する調査研究
- ①食生活と健康に関する調査研究
 - ②農村生活の変化と健康障害に関する調査研究
- (8) 農村におけるプライマリーヘルスケアに関する調査研究
- ①農村における健康管理運動の確立に関する調査研究
 - ②農村検診における各種疾患の要因分析に関する調査研究
- (9) 農村における高齢者問題に関する調査研究
- ①「農村における老化とその対応」に関する調査研究
 - ②農村におけるコミュニティーケアに関する調査研究
- (10) その他、農村における各種健康・保健調査の実施
- ①肥満、アルコール、肝疾患などに関する調査研究
 - ②農村における成人病に関する調査研究

③その他

II. 各種研究集会参加・交流並びに開催

(1) 学会への参加

①第7回アジア農村医学会への参加（平成8年5月，旭川市）

②第45回日本農村医学会への参加（平成8年10月，盛岡市）

(2) 第14回富山県農村医学研究及び健康管理活動発表集会の開催
平成9年2月1日（土），厚生連高岡病院

(3) 中国，河南省との農業災害，農薬中毒，高齢者の実態調査の共同研究

III. 会誌等の印刷物の発刊

①会誌第28巻の発刊

②その他

IV. その他目的達成に必要な事業

平成 8 年度収支予算書

収入の部

(単位：円)

項 目	予 算 額	備 考
会費収入	265,000	
会 費	265,000	265人×1,000円
助成金	1,800,000	
助 成 金	1,800,000	富山県より
特別負担金	4,680,000	
特 別 負 担 金	3,480,000	4連×870,000円
調査研究協力費	1,200,000	厚生連より繰入
雑収入	2,672	
雑 収 入	2,672	利息など
前期繰越金	58,700	
収 入 計	6,806,372	

支出の部

項 目	予 算 額	備 考
会議費	620,000	
総 会 費	220,000	
役員会費	400,000	
事業費	5,680,000	
研究調査費	3,400,000	各種調査研究費
専門委員会費	50,000	“ 打合せなど
研究集会費	500,000	農村医学会参加費、発表集会など
会誌発行費	1,300,000	第28巻発行費
編集委員会費	30,000	
通信費	200,000	
消耗品費	150,000	
備品・什器	50,000	
旅費交通費	200,000	
旅 費 交 通 費	200,000	
事務費	240,000	
事 務 費	240,000	20,000円×12ヶ月
雑費	50,000	
雑 費	50,000	
予備費	16,372	
予 備 費	16,372	
支 出 計	6,806,372	

役員・顧問名簿

平成8年6月8日現在

理 事	役	職
越山健二	全国国保診療施設協議会顧問	
松岡忠一	県医務課 課長	
山本勝昭	県普及技術課 課長	
植出耕一	県健康課 課長	
小野啓安	保健所長会長・富山保健所 所長	
飯田恭子	保健所長会副会長・黒部保健所 所長	
石田礼二	富山県赤十字血液センター所長	
館野政也	済生会高岡病院 院長	
熊谷武夫	高岡市保健センター所長	
黒崎正夫	富山県医師会学術担当理事	
中藤康俊	富山大学教授	
渡辺正男	前富山医科薬科大学教授	
長谷田祐作	元国立富山病院 院長	
西能正一郎	西能病院 理事長	
北川鉄人	北川クリニック 院長	
寺中正昭	寺中クリニック 院長	
加藤正義	厚生連高岡病院 院長	
小川忠邦	厚生連滑川病院 院長	
小田務	厚生連高岡病院 副院長	
大沢勇	富山県農協中央会 組織農政部長	
久保博紀	富山県経済連生活部 部長	
安宅清一	富山県厚生連 参事	
中井かおり	富山県農協婦人組織協議会 会長	
高島尚志	富山県農協青年組織協議会 委員長	
高畑すみ子	富山県生活指導員協議会 会長	
監 事	役	職
美川郁夫	厚生連高岡病院 副院長	
上田七郎	高岡市農林部長	
顧 問	役	職
中冲豊	富山県知事	
正橋正一	富山県市長会 会長	
	富山県町村会 会長 ※	
出口国夫	富山県医師会 会長	
三荻文雄	富山県厚生部 部長	
澤合敏博	富山県農林水産部 部長	
松井信勝	富山県農協中央会 会長	
戸谷徳一	富山県信連 会長	
中西正孝	富山県経済連 会長	
大江孝一	富山県厚生連 会長	
江西甚昇	富山県共済連 会長	

※ 顧問の富山県町村会会長は、6月9日の町村会総会にて決定されてより依頼する。

投 稿 規 定

募 集 原 稿 農村医学の分野における独創的な研究および会員のたよりとします。

投 稿 の 資 格 投稿者は原則として富山県農村医学研究会会員とします。

原 稿 の 送 り 先 富山県農村医学研究会事務局宛（富山市新総曲輪2番21号富山県厚生連内）

投稿原稿の掲載選択順位は編集委員にご一任下さい。

論文の原稿の形式

1. 本文は本会規定の原稿用紙に、口語体、平かな、新かなづかいで、できるだけ簡潔に横書して下さい。
2. 外人名、地名、その他の固有名詞、特別な化合物名などは、できるだけ原綴のまま（Pasteur, Prostigmin等）とし、動植物名は日本名の次に学名（ローマ字 Moccusruslesus, 山椒藻 Salvinabatah等）を記入する。計量にかんするものはメートル法に準拠し、次のような略号を用いる。メートルm, センチメートルcm, グラムg, キログラムkg等。
3. コンマ（,）ピリオド（.）コロロン（:）ゴシックの使用等に気をつけて下さい。
4. 図表は、そのまま製版できるように上質ケント紙または方眼紙に墨で、ていねいに書いて下さい。

（図表は、特殊なものを除いては、出来上がり左右6.5cmに製版しますから、その2倍か3倍に書いて下さい。）

図表の文字は、こちらで記入しますから、鉛筆で書いて下さい。

5. 写真は出来るだけ鮮明なものをお送り下さい。
6. 本文に挿入する図表、写真については、挿入場所を原稿の欄外に明記（末記）して下さい。

無 料 掲 載 原稿用紙20枚（刷り上がり5頁）までとします。ただし挿入附図、附表を含みます。

有 料 掲 載 超過頁の印刷代、附図、附表の製版代の実費は投稿者の負担とします。ただし刷り上がり15頁を限度とし長篇の論文を5頁ずつ分割掲載することは認められません。

文 献

1. 雑誌の場合 著者名、標題名（雑誌指定の略号）、巻数（号数）、頁一頁、発行年月（昭和52.5のごとく。）
2. 単行本の場合 著者名：標題名、発行所、発行地、発行年月（必要ならば引用の箇所を最後に）

印 刷 印刷の部数や体裁などについてはある程度まで、実費をもってご希望に応じます。ただし別刷30部までは無料で投稿者に進呈、30部以上は実費をご負担願います。

編 集 後 記

今回の研究会誌の発刊は、著しく遅れてしまいました。これは、ひとえに事務局の責任であり、会員各位、並びに投稿下さった方々に深くお詫び申し上げます。

本誌では、農協共済総合研究所の委託研究報告、「老化とその対応」の全文を掲載することができました。この報告は、富山県農村医学研究会の総力を上げ、全国7ヵ所の分担研究者との共同研究の報告書です。この調査は、越山健二会長が企画され、本邦では初めてとも思える、高齢者の信条・思いに焦点を当てた調査です。この調査、今後の農村のみならず、日本の高齢者対策の指針の一つになるのではないかと自負しているところです。

実際、この報告書を手にとられた研究者や行政担当者、農協の関係者から、大変貴重な報告との言葉をいただいております。今回、この会誌に掲載されたことにより、さらに多くの方々にご意見をいただければ幸いです。

(E. O)

編 集 委 員 越山健二，長谷田祐作，渡辺正男，北川鉄人

富山県農村医学研究会誌 第28巻平成9年3月25日印刷・3月31日発行
富山市新総曲輪2番21号・富山県厚生連内 電話 富山(0764)45-2307
編集、発行所 富山県農村医学研究会 事務局長 寺部 聡
印刷所 中央印刷株式会社 富山市下奥井町 電話(0764)32-6572
